スポーツを「みる」ことで，極限を追求するアスリートの姿に**感動し，人生に活力**が得られる。家族や友人等が一生懸命応援することでスポーツを「する」人の力になることができる。

スポーツを「ささえる」[*2]ことで，多くの人々が交わり**共感**し合うことにより，**社会の絆**が強くなっていく。

例えば「みる」ことがきっかけで「する」「ささえる」ことを始めたり，「ささえる」ことで「する」ことのすばらしさを再認識したりすることもある。また，スタジアムやアリーナで多くの人々がトップアスリートの姿を間近に見ることでスポーツの価値を実感することができる。スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで全ての人々がスポーツに関わり，その価値が高まっていく。[*3]

→　スポーツを日常生活に位置付けることで，スポーツの力により人生を楽しく健康で生き生きとしたものにすることができる。

２　スポーツで「社会」を変える！

スポーツで社会の課題解決に貢献し，前向きで活力に満ちた日本を創る。

（１）スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで社会の発展に寄与できる。

年齢，性別，障害の有無等に関わらず，スポーツは誰もが参画できるものであり，全ての人々が関心や適性等に応じて，安全で公正な環境の下で日常的・自発的にスポーツに参画する機会を確保することが重要である。

スポーツを通じて人々がつながり，スポーツの価値を共有することができ，人々の意識や行動が変わる。これが大きな力となって社会の課題解決につながる。

持続可能な開発と平和などスポーツが社会の課題解決に貢献することは，国際連合やユネスコなどでも謳われており，スポーツの価値を高める投資が社会の健全な発展に有効であるとの考え方は国際的な潮流である。[*4]

（２）スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現，経済・地域の活性化に貢献できる。

障害者スポーツを通じて障害者への理解・共感・敬意が生まれる。

子供，高齢者，障害者，女性，外国人などを含め全ての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで，**心のバリアフリーや共生社会**が実現する。

[*2] スポーツを「ささえる」とは，自らの意思でスポーツを支援することを広く意味しており，指導者や専門スタッフ，審判等のスポーツの専門家による支援だけでなく，サポーターやボランティアなど様々な形がある。また，スポーツ活動を成り立たせるために，スポーツ団体やチームの経営を担ったり，スポーツ用品や施設の提供を行ったりすることも含まれる。

[*3] スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことの基盤として，書物，映画など様々なメディアを通じて「知る」ことも重要である。

[*4] 2013年・ＭＩＮＥＰＳ・Ⅴ（体育・スポーツ担当大臣等国際会議）で発出されたベルリン宣言において，「体育やスポーツプログラムに関する財源を確保することは，前向きで社会経済的成果を生み出す，安全な投資である」とされている。

スポーツを楽しみながら適切に継続することで，生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて**健康寿命を伸ばす**ことができ，社会全体での**医療費抑制**につながる。

民間事業者において働き方を見直し，スポーツの習慣づくりを通じて「健康経営[*5]」を推進することにより，**働き方改革**にも貢献できる。

スポーツは多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツである。**スポーツの成長産業化**を図り，その収益をスポーツへ再投資することを促すことでスポーツ界が自立的に成長を遂げるための好循環を実現する。

人口減少や高齢化が進む中，スポーツ資源を地域の魅力づくりやまちづくりの核とすることで，地域経済の活性化など**地方創生**に貢献する。

スポーツは，人を元気づけるとともに，人を結びつける力を持っており，状況や社会を変える可能性を持つことから，**災害からの復興**に貢献する。

アスリートは，不断の努力の積み重ねにより人間の可能性を追求しており，その活躍や努力は人々に**夢と希望**を届け，**チャレンジする勇気**を社会全体にもたらす。また，トップアスリート[*6]が才能を開花させる過程で培われた**技術や知識・経験，生き方は社会的な財産**でもあり，それらは多くの人々にスポーツの魅力を広げ，社会に活力をもたらすものである。

３　スポーツで「世界」とつながる！

スポーツで世界に発信・協力し，世界の絆づくりに我が国が貢献する。

スポーツは，人種，言語，宗教等の区別なく参画できるものであり，国境を越え人々の絆を育む。スポーツを通じた国際交流により**「多様性を尊重する世界」**の実現に貢献する。

スポーツは，貧困層や難民，被災者など困難に直面した様々な人の生きがいづくりや自己実現のきっかけとなり，スポーツによる開発と平和への支援により**「持続可能で逆境に強い世界」**の実現に貢献する。

スポーツは他者への敬意や規範意識を高められるものであり，日本が率先して模範となることで**「クリーンでフェアな世界」**の実現に貢献する。

スポーツを巡る国際的な政策，ルールづくりや国際協力に積極的に参画し国内の取組に反映すること，国際競技大会や国際会議を開催すること，それらに必要な国際人材を育成することを通じ，我が国がリーダーシップを発揮して**国際的地位**を高める。

トップアスリートの世界的な活躍はトップアスリートを輩出した地域の誇りとなり，**各地域や団体は，世界と競っているという広い視野**をもって国際競技力の向上を図る。

[*5] 経済産業省によれば，「健康経営」とは，従業員等の健康管理を経営的な視点で考え，戦略的に実践することであり，企業理念に基づき従業員等への健康投資を行うことは，従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし，結果的に業績向上や株価向上につながると期待される，とされている。

[*6] 世界選手権大会等において好成績を収めているアスリートや，中央競技団体の強化指定選手等。